



2024年5月16日

各位

会社名 ファーストコーポレーション株式会社
代表者 代表取締役社長 中村 利秋
(コード番号 1430 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役経営企画室長 宮本 比都美
(TEL 03-5347-9103)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2024年5月16日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 現状分析

当社の自己資本利益率（ROE）は2019年5月期以降の5期平均で18.7%となっており、当社の株主資本コスト（5～6%程度と推定）を上回って継続的に推移しております。また、当社の株価純資産倍率（PBR）は継続的に1倍超で推移しており、2019年5月期以降の5期平均で1.35倍となっております。

	2019年 5月期	2020年 5月期	2021年 5月期	2022年 5月期	2023年 5月期
売上高 (百万円)	19,015	23,418	20,919	30,178	25,543
営業利益 (百万円)	1,877	1,342	1,666	1,919	1,983
売上高営業利益率 (%)	9.9	5.7	8.0	6.4	7.8
当期純利益 (百万円)	1,275	872	1,125	1,269	1,364
ROE (%)	23.1	14.7	18.2	19.2	18.4
期末株価 (円)	765	537	751	731	795
PBR (倍)	1.73	1.15	1.44	1.25	1.20

注) 2023年5月期より連結決算を開始したため、2022年5月期以前は単体決算に基づく数値となっております。
2023年5月期の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益となっております。

2. 方針

中期経営計画目標値の着実な達成による資本収益性向上とM&A、研究開発投資、人的資本投資などの成長投資によりROE20%以上を目指すほか、株主還元強化やIR活動推進により市場評価を高め、企業価値向上を図ってまいります。

3. 具体的な取組

- (1) 資本収益性の向上
 - ▶ 中期経営計画目標値の着実な達成
 - ▶ 成長投資
- (2) 市場評価の向上
 - ▶ 株主還元強化
 - ▶ IR活動の推進

以上

詳細につきましては添付資料をご参照ください。



こだわりの品質を、すべてはお客様のために。

ファーストコーポレーション株式会社

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

2024年5月16日
東京証券取引所 スタンダード市場
コード1430

1. 現状分析（1）指標の推移

【主要経営指標推移】

(単位：百万円)

	2019年 5月期	2020年 5月期	2021年 5月期	2022年 5月期	2023年 5月期
売上高	19,015	23,418	20,919	30,178	25,543
完成工事総利益率 (%)	15.2	9.4	8.4	10.7	11.6
営業利益	1,877	1,342	1,666	1,919	1,983
売上高営業利益率 (%)	9.9	5.7	8.0	6.4	7.8
当期純利益	1,275	872	1,125	1,269	1,364
期末純資産	5,830	6,084	6,282	6,929	7,922
ROE (%)	23.1	14.7	18.2	19.2	18.4
BPS (円)	441.59	466.55	520.77	585.00	664.54
期末株価 (円)	765	537	751	731	795
PBR (倍)	1.73	1.15	1.44	1.25	1.20
PER (倍)	8.0	8.1	8.3	6.9	6.9

注) 2023年5月期より連結決算を開始したため、2022年5月期以前は単体決算に基づく数値となっております。

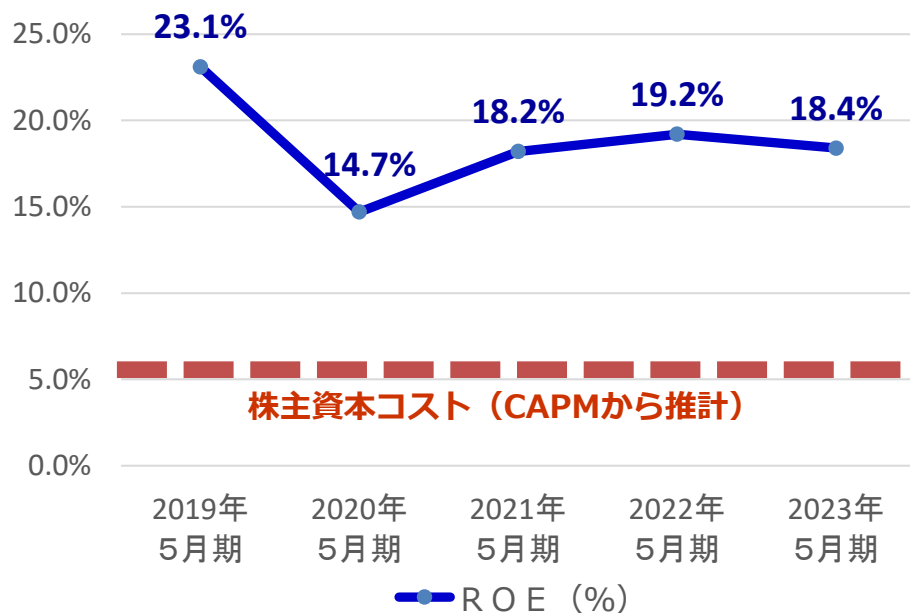
1. 現状分析（2）資本収益性

【資本収益性に関する分析】

資本収益性

- 株主資本コストは5～6%程度と推計
- 直近5年平均ROEは18.7%
- エクイティスプレッドは継続的にプラスで推移

ROEの推移



株主資本コストの推計

資本資産価格モデル(CAPM)による推計

リスクフリー
レート

β値

市場リスク
プレミアム

0.6%程度 + 0.8程度 × 6%程度

= 株主資本コスト 5～6%程度

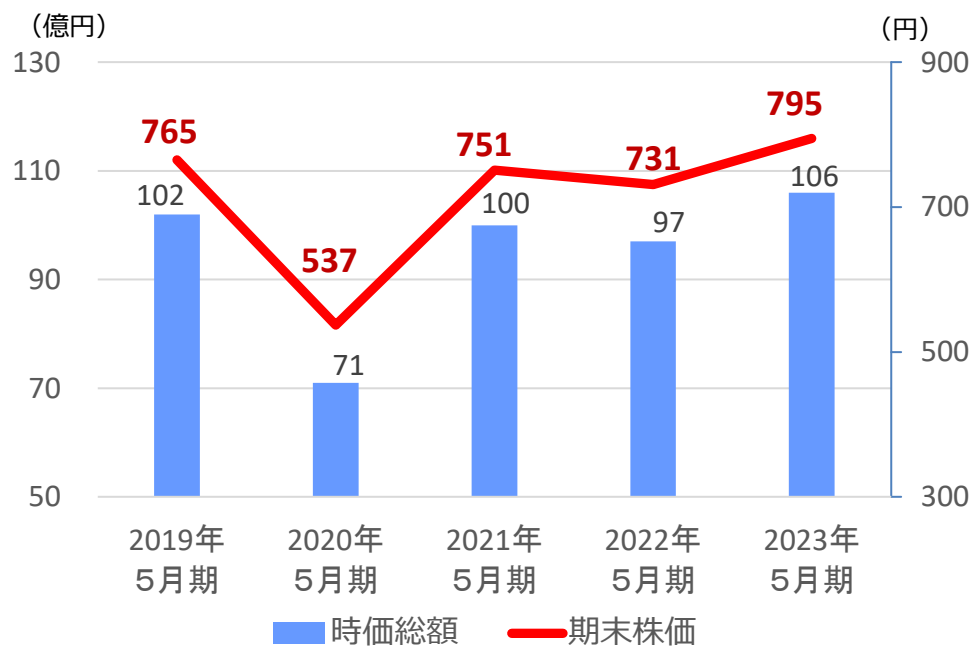
1. 現状分析（3）市場評価

【市場評価に関する分析】

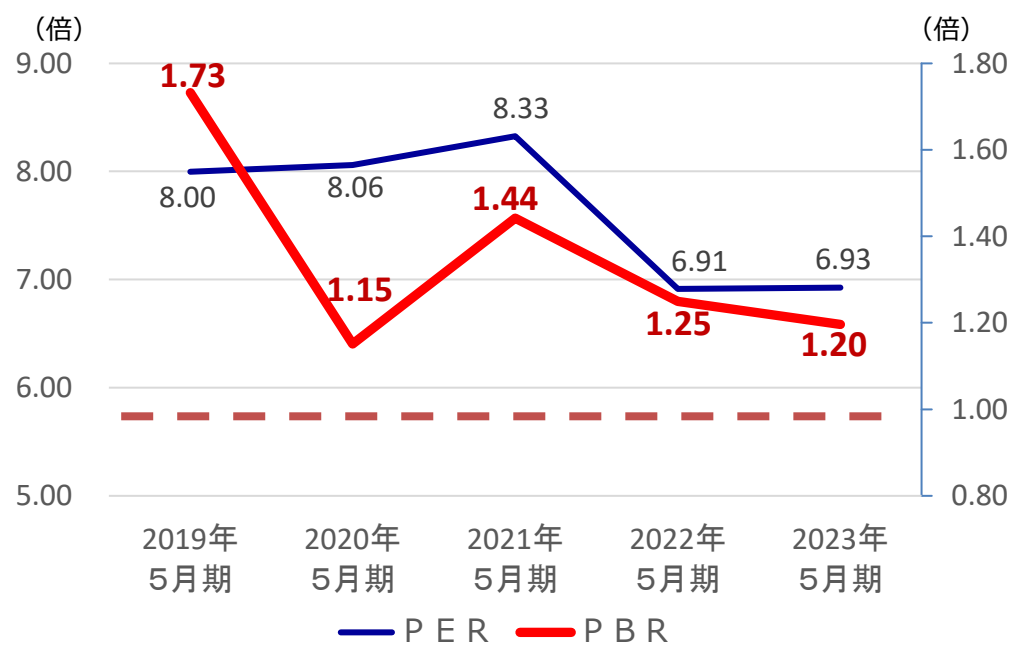
市場評価

- 直近5年平均期末株価は715円、直近は850円程度で推移
- PBRは継続的に1倍超で推移
- 直近5年平均PBRは1.35倍

時価総額と株価の推移



PER・PBRの推移



2. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

中期経営計画目標値の着実な達成による資本収益性向上とM&A・研究開発投資・人的資本投資などの成長投資によりROE20%以上を目指すほか、株主還元強化やIR活動推進により市場評価を高め、企業価値向上を図る。

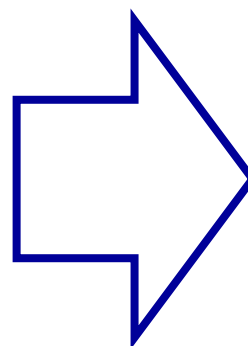
$$\begin{array}{|c|} \hline \mathbf{PBR} \\ \hline \text{企業価値} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \mathbf{ROE} \\ \hline \text{資本収益性} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \mathbf{PER} \\ \hline \text{市場評価} \\ \hline \end{array}$$

資本収益性の向上

- 中期経営計画目標値の着実な達成
- 成長投資

市場評価の向上

- 株主還元強化
- IR活動の推進



企業価値向上

2. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

資本収益性の向上

【中期経営計画 Innovation2023 数値目標】

	2023年5月期 実績		中期経営計画最終年度 2026年5月期
売上高	25,543百万円	売上高	37,200百万円
完成工事総利益率	11.6%	完成工事総利益率	10.0%
営業利益	1,983百万円	営業利益	2,635万円
売上高営業利益率	7.8%	売上高営業利益率	7.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,364百万円	親会社株主に帰属 する当期純利益	1,750百万円
ROE	18.4%	ROE	20.0%
受注高	21,000百万円	受注高	20,000百万円

中期経営計画の詳細は右記URLをご参照ください。 <https://www.1st-corp.com/ir/library06.html>

【成長投資】

- M & A ⇒ 業容拡大と収益基盤の多様化
- 研究開発投資 ⇒ 新たな建築技術の開発による高付加価値の追求と創出
- 人的資本投資 ⇒ 収益力強化に向けた人財の確保と育成

2. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

市場評価の向上

【株主還元強化】

- 収益性向上による安定配当の継続と拡充
 - ✓ 現在の利益還元方針は連結配当性向30%以上、収益性向上により1株当たり配当金額も上昇
 - ✓ 安定的な配当を継続
- 機動的な自己株式取得

【IR活動の推進】

- 株主・投資家との積極的な対話
 - ✓ 株主・投資家との対話の継続
 - ✓ 経営層へのフィードバックと意見・課題等の有効活用
- ホームページ及びIRサイトの充実
 - ✓ 非財務情報等の開示の充実



こだわりの品質を、すべてはお客様のために。

ファーストコーポレーション株式会社

本資料における業績予測及び将来の見通しは、当社が公表時点で把握可能な情報に基づき判断した仮定及び予想であり、実際の業績は主要市場の経済状況、不動産及びマンション市況、労働力需給、建築資材価格、金利などのさまざまな要因の変化により乖離する場合がございますので、予めご了承ください。

本資料の著作権は当社に帰属します。本資料は、当社の事前の承諾なく複製または転用等を固くお断りいたします。